

メールマガジン

E-roken

<https://www.roken.or.jp>

2023年
4月15日 現在
第450号まで
配信中

<登録・配信に関するお問い合わせ先> 公益社団法人 全国老人保健施設協会事務局
TEL : 03-3432-4165 E-mail : info@roken.or.jp

編集後記

私は、ご利用者の入所の際にはお薬手帳を確認しています。入所前に増量もしくは減量された薬があれば、症状の経過についてたずねます。処方内容に変化がなかった場合でも、入所後のvitalや症状によって、減量することもあるれば増量することもあります。薬剤を適正に使用するという事は、薬物による有害事象のリスクを減らすとともに、病状や体調の安定につながるのだと考えるからです。

数か月前、観血的整復固定術後のリハビリ目的で入所された方が、数種類の鎮痛剤を持参されました。ご本人に症状を聞きながら処方薬を漸減し、痛みの増悪なく在宅復帰されました。しかし、その後短期入所された際は、

鎮痛剤がまた増えていました。ご本人に聞いたところ鎮痛剤が増えた後も痛みは変わらないとのことでした。

薬剤を増やすことは簡単ですが、減らすことはなかなか大変です。また薬剤によっては継続するにも中止するにもメリットとデメリットがあります。そのため、きちんと説明をした上で調整し、症状に変化がないか経過をみる必要があります。老健施設は、日常生活により近い環境でご利用者の様子を日々見ることができるので、「ちょうどよい」薬剤の使用量と使用方法を提案できます。これが老健施設の強みであると私は考えます。

全老健広報情報委員 山梨真里

次回 老健6月号 予告

| 特集 |

老健施設における サイバーセキュリティ対策

老健 月刊 全国老人保健施設協会機関誌

2023年5月号 (第34巻第2号 通巻334号)
定価990円 (税・送料込) ※会員購読料：会費に含む

編集発行人 一東 憲太郎
発行所 公益社団法人全国老人保健施設協会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル6階
Tel 03-3432-4165 / Fax 03-3432-4172
E-mail info@roken.or.jp
HP <https://www.roken.or.jp>

HP



LINE



facebook

